

ロシア語学習の社会言語学的諸相

ゲ. ゲ. ブルジューフ

(ダゲスタン国立教育大学)

月刊『民族学校のロシア語』誌 (1986年 No.11) 所載

今日、一つの言語のその社会（ソ連社会）で担っている役割やロシア語や母語がどの様に機能しているかを考慮しなければ、学術的に妥当なロシア語教育の方法論を考えることは難しい。

そこで、ある地域、居住地におけるロシア語と母語がどの様に機能しているか、ある言語の使用者が生活し働いている社会経済上の環境と、彼らと異民族の人達との歴史的、文化的、経済的関連、いくつかの言語が接触してそれぞれの言語がお互いに影響を及ぼし合っていること、また、大衆のコミュニケーションの手段であるとか、ある民族の代表者が異民族の言語に対してどの様な態度をとったかといったことやその他の諸々の現象などは、ロシア語と民族語のバイリンガル発達を促す上での社会言語学的要素であると認められよう。

諸言語の比較タイポロジー的な研究の成果やロシア語学習の言語学的な基礎だけではそれ自体、言葉の教育法の増加しつつある要請に答えることは出来ない。どの様に現実にロシア語と民族語相互が影響し合うか、その影響が具体的な現地の諸条件とどの様に関わっているかということをもっと正確に調べてみる必要が生まれている。

外国語を習得する場合に、実際にはその外国語が話される環境が重要な役割をすることは知られている。ロシア語を日常的に使う環境がなくても別の社会言語学的な要因がある程度この欠落部分を補うことが出来る。ダゲスタン自治共和国で行なわれた専門的な実験はこのことを裏付けている。

ソ連の民族自治共和国では最近、ロシア語の社会的機能が益々広がりつつあり、そのことがロシア語で話す環境を創り出したり、学校外でのロシア語の使用や、会話の練習の強化を促したりしている。

文化的な要素はロシア語と民族語のバイリンガルを進める上でかなり重要な条件である。例えば、農村でも子供達はロシア語でラジオを聴いたり、テレビ放送や映画を見ることも、新聞、雑誌、文芸書を読むことも可能である。子供達はラジオやテレビ放送、映画に出てきた歌、詩、会話を覚え、動画の内容をロシア語でやさしく語り直したり、イントネーションや発音を正確に再現して、正しく一つひとつの言葉の意味を把握したり、文型を習得することができる。

学習者達の箇々のロシア語を分析してみると、家族は子供達の言葉の発達に影響を与えている積極的な社会環境であることがわかる。両親の権威であるとか、日毎の両親との会話、両親の文化水準や教養、あるいは言葉の発達水準が子供達に非常に影響を与えているのである。

幾つかの研究から社会言語学的な要素が、ほとんどの家庭で、子供のロシア語での会話に絶えず影響を与えているということが判明した。これらの社会言語



テカ、キルン他『ロシア語』所載
(モスクワ ロシア語社 1989 年刊)

学的な要素として、学童の両親や他の家族構成員によるロシア語習得の、次のような量的質的な目安が挙げられよう。

- ① その家族内でのロシア語及び母語の果たす役割の特徴
- ② ラジオ、テレビ、家庭図書館があるか、それらが使われているか、バイリンガル発達への影響はどうか
- ③ ロシア語の新聞や雑誌を予約購読しているか
- ④ 両親と子供のロシア語への関わり方などである。

我々が調査した家庭のうちで家庭内でもロシア語を使用している率は23%である。こういう家庭に生活している子供達の発話能力は、家庭内でロシア語の会話を聞いていない家庭の子供達に比べて、押並べて著しく高い。しかしこういう子供達でも、家庭内でマネをするに足りるような模範となり得る正しい発音と正しい文法に沿った会話を必ずしも聞けるとは限らないという事実も、指摘しておく必要がある。家庭内でロシア語を流暢に操ることの出来る人が一人でもいれば、その人が学習者の言葉を吟味し、援助することも可能である。そこで先生は各自、どの家庭でどれだけの子供がこの様な援助を受けられているのかを知らねばならないし、そしてこのことを踏まえながら、両親に妥当な教育方法論上の助言を与えなければならない。

我々の研究によれば、両親が子供達にロシア語を教える時に、ラジオやテレビを努めて使うようにすると、その教育と発達に非常に大きな手助けになるのは明らかである。

こういう方針での訓練は両親や子供達が認識を深めておいた、予め編成された特殊なプログラムに従ってなされた。初等クラスの学習者は見終った放送から個々の語彙、文章を覚え、小さな断章をやさしい言葉で表現するといった課題に取り組んだ。両親は子供達の再話を聞き、発音、語彙、文法の各側面から言い誤りを正し、意見を述べるのに必要な単語を記録し、再話のための構想を立てることなどを行なった。両親には更に、ラジオやテレビの放送を録音し放送テキストを繰り返し聞き取ったものを、学習者が再話して録音テープに収め放送と再話を比較して発音、語彙、連語の学習をさせるよう助言が与えられた。

一週間に二、三回もこういう課題をこなせば十分である。学習がしだいに体系化するにつれて、子供達はそれに馴染んで行くが、両親が進めているこの様な教育方針と具体的な手法も一層充実してくる。

同様の学習は高学年で更に複雑な材料を扱って展開される。

アンケート調査の結果は両親がロシア語で書物、新聞、雑誌を読んでいる割合が36%で、52%の両親が基本的にロシア語でラジオ、テレビ放送を聞いており、両親のうち20%が手紙をロシア語で書いていることを示している。住民の前に立って母語よりむしろロシア語で演説する方が楽である人は28%と考えら

れ、32%の人々がロシア語で講義を聴いているし、仕事でもロシア語がコミュニケーションの手段となっている人は同じく32%という数字もある。

これらの資料から、ダゲスタンの人々の家族の日常生活や精神生活に於けるロシア語の比重が著しく高まり、その機能は年を追うごとに拡大しつつあるのが判る。ロシア語教師の課題は実際の授業でこれらの資料を上手に使用することである。

ロシア語が校外で学習者たちにどの様に利用されるかという点はとても興味がつきない問題である。アンケート調査した2946人のうち、654人の学童がロシア語で会話している。(これは22%に相当する。) こうして身のまわりの環境がロシア語で整備されるようになるが、教育の現場から離れたこの様な環境では、ロシア語を十分身に付けていない学童によって看過される可能性のある言葉の誤りが、他の子供達のロシア語の中に移ってしまうという若干の欠点もつきまとう。

社会言語学的要因は不変ではない。あらゆる社会的手段と同様、それらは変わり得るものなのである。バイリンガル発達の度合とそのレベルに対する言語外の要素からの働きかけは、ある程度まで具体的なその地方の環境と絡み合っている。多くの言語が交錯するダゲスタンにおいて実際の生活自体が今後、更にバイリンガルを必要とし、そのことが今度は学習者がロシア語をマスターすることに影響を及ぼすものである。

ダゲスタンでは地域によってバイリンガルの程度はまちまちである。それで当地では、学習者がロシア語を実践的に身につけるための社会言語学的要因がさまざまに作用している。

ロシア語を身につけるための最良の条件は町や鉄道に近い居住地などに存在する。これらの地域に住んでいる両親や子供達は絶えず、異民族を代表する人やロシア人住民と接触しているので、そのことがロシア語習得の刺激になる。

ロシア人でない民族の言語が借用したロシア語語源の単語の習得は本稿にいうバイリンガルを発達させるために大きな影響を与える。しかもダゲスタンの全ての文字言語、非文字言語がロシア語からほとんど同じ単語を借用しているのである。こういう事実はロシア語語源と共通なダゲスタン諸言語彙フォンド

を作成することに繋がる筈である。しかし言語のそれぞれの特徴に従って借用されたロシア語の語彙はロシア語とは異なる音声学的、文法的な変化を蒙っているので、教育に当たってはそれらを教える必要がある。

教師はいろいろな地域、居住地での社会言語学的要素や諸言語の相互作用の特性を解明出来なければならない。関連していえば、言語学的諸要素の考慮は将来、ロシア語教師が教育法を編みだしていく上で特に重要である。

教育大学のロシア語教育法課程では“民族学校学童の二言語使用とロシア語学習の深化のための社会言語学的要素の役割”が教えられている。学生達は実際の資料の蒐集とその利用に関するプログラムを受け取る。彼らの一人ひとりに、ある居住地での社会言語学的要素を学習するための具体的な課題が立てられる。

実地の授業の準備のために、学生は個別の課題を渡され、授業計画に関する必要資料を作成し報告する。例えば、彼らは二、三家族の両親のバイリンガルの度合を調べて、子供達がロシア語を身につけられるように、実際にその家族の誰が彼らを指導できるかということを指摘したり、ある居住地に見られる社会言語学的要因に関する報告を準備すること、借用語の語彙が母語の影響を受けて蒙る音声学的、文法的変化を分析することなどが求められるのである。

教育実習の過程では教室内外の授業で社会言語学的要因を考慮しながら、実験的な授業も行なわれる。例えば、両親には子供達の話し言葉の発達を促すため、ラジオとテレビ放送を利用した専門的な課題が与えられる。

学生は集められた事実の資料を分析したものを基に、ロシア語学習をラジオとテレビ放送を利用して実施する方法に関する学年レポートや学術報告を準備し、小学校での実際の授業でそれらを定着させる専門性の高い教育方法に関する助言に磨きをかける。